

石村工務店株式会社

慶長年間から続く建築会社 宮大工養成塾福岡校を開設

先祖代々、社寺建築の技術を受け継ぎながらも、新しい技術習得に対して積極的に挑戦。現在では一般的な建築物も広く請け負う伝統ある設計施工会社『石村工務店』。その歴史は長く、慶長年間に黒田藩から招かれた宮大工をルーツとする。そんな伝統ある企業が、現代、業界全体が直面する職人不足に向き合う。2025年、『宮大工養成塾福岡校』の設立を決めた石村代表に話を聞いた。



代表取締役

石村 斉

石村工務店株式会社
Ishimura koumuten Co.,Ltd.



慶長年間から受け継ぐ技 次世代へつなぐプロジェクト

イザム 伝統ある技術と最新の建築技術を駆使する歴史ある企業ですね。石村代表は何代目にあたるのですか。

石村 記録に残っているところでは5代目。しかし、社寺建築における当社の歴史はかなり古く、当家には慶長年間、黒田藩の城主が福岡に築城の際、岡山から専属の宮大工として招いたとされる歴史が伝わっています。家業として先祖代々、伝統ある設計施工法を受け継いできました。さらに、その歴史の中で新しい技術も蓄積を続け、今では建築全般を手がけています。

イザム 事務所の神棚も立派なものです。**石村** 私はこういった日本の伝統あるものが好きです。これは、伊勢神宮と同じ「神明造」でして、茅葺きの屋根です。

イザム 石村代表が家業を継承するのは、自然の流れだったのですか。

石村 いえ、もともと継ぐ気はありませんでした。当社に入社し、およそ10年間修業しました。3年前に父が他界して代表になりました。

イザム そんな中、宮大工の技術継承に向けて新たな取り組みをなさるとか。

石村 2025年、会社として『宮大工養成塾』の福岡校をフランチャイズ運営することを決めました。いわゆる建築のいろはを学ぶ学校で、3年間の寮生活と内弟子制度により修業するもの。門下生はスマホも持ち込めないほど厳しい修業期間を送ります。当社は5名の大工のうち、3名が70代。人材育成に待たなしの状況なのです。

一般建築と社寺建築の 二本柱で大工を育成する

イザム 塾生たちは、卒業後に宮大工として雇用されるということでしょうか。

石村 はい、来年、大阪校で学んだ17歳の卒業生が、当社の社員として働いてくれます。また、福岡の若宮工場に寮をととのえて、門下生が住み込みできる体制を整えています。

イザム やはり、社寺を手がける大工の仕事は一長二短ではできませんよね。

石村 そうですね。当社は神社の建築を請け負っております。工法といった技術はもちろんです。それ以外に宮司は独自の考えをお持ちの方も多く、それを取り囲む氏子さんがおり、話がまとまるまでに時間を要することも。地方の場合、複数の街に

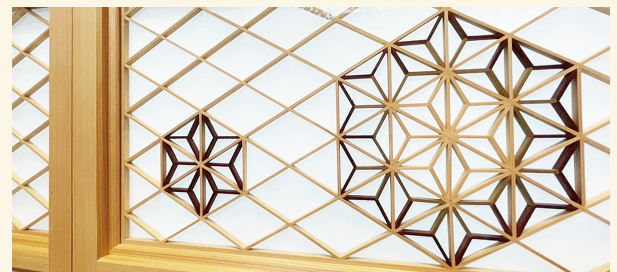


商業ビル・ホテル・一般住宅などの新築工事、社寺建築の他、年に一棟だけの宮大工で造る注文住宅まで、事業の幅は広い。

『宮大工養成塾』のパンフレットを持つイズム。日本の伝統を守る取り組みに興味津々だ。

アーティスト・プロデューサー

IZAM



石村 会社としては一般の建築物も同じ仕事の比重でなさっているのですか。
イズム ええ、法人様からの案件も多く受注しています。我々の業界は競合も多く、

地方の社寺支援を見越す
日本を背負う新たな挑戦

またがり氏子を形成するため意見の調整も難しい仕事のひとつです。
イズム 宮大工の養成について、どの程度の受け入れ人数を考えているのですか。
石村 年間1〜2名の受け入れを考えており、毎年1名の卒業生獲得を目指します。
イズム 募集要項について、門戸は幅広い層の人に開かれているのですか。
石村 制限は特にありません。まずは半日の宮大工体験を行い、そこで興味を持たれた方にアプローチします。

石村 当社は現代建築と社寺の二本柱を継続しており、両方ともしっかりとした基盤を作っています。これからも、それを固め、成長させていきます。
イズム 躍進を期待しています。

石村 「伝統文化・技術の継承」と「人材育成」の三つに絞られています。私はすでに50歳になる年ですが、かたや子どもはまだ7歳で継承というには遠い。元気なうちに次の人材を育てなくてはなりません。
イズム 企業としての長い歴史、そして70代になるベテラン職人たちが培ってきた技術を背負っての人材教育は責任重大ですが、二方で未来が楽しみです。
石村 実は地方の社寺の課題として、資金がなくなかなか建物の修繕に手をつけられない実態があります。こういったものについては、塾生たちと学びも兼ねてしっかり改修を入れたい。塾生の学びという名目で、当社としても費用を安くおさえ、お力を貸すカタチができます。地方の困っている社寺に力をお貸ししたいです。
イズム 今後の目標を教えてください。

石村 本社は福岡ですが、名古屋にも支店があるのですか。
イズム 社員の一名が、挑戦させてほしいということ、送り出しました。こちらは建築のリフォーム業に特化した内容で、事業は軌道に乗っています。
イズム そんな中、モットーと言いますか、御社が今、見据えておられる未来はどのようなものですか。
石村 「伝統文化・技術の継承」と「人材育成」の三つに絞られています。私はすでに50歳になる年ですが、かたや子どもはまだ7歳で継承というには遠い。元気なうちに次の人材を育てなくてはなりません。
イズム 企業としての長い歴史、そして70代になるベテラン職人たちが培ってきた技術を背負っての人材教育は責任重大ですが、二方で未来が楽しみです。

当社が一般の建築物で特色を出すためには現状、課題があります。
イズム 本社は福岡ですが、名古屋にも支店があるのですか。
イズム 社員の一名が、挑戦させてほしいということ、送り出しました。こちらは建築のリフォーム業に特化した内容で、事業は軌道に乗っています。
イズム そんな中、モットーと言いますか、御社が今、見据えておられる未来はどのようなものですか。
石村 「伝統文化・技術の継承」と「人材育成」の三つに絞られています。私はすでに50歳になる年ですが、かたや子どもはまだ7歳で継承というには遠い。元気なうちに次の人材を育てなくてはなりません。
イズム 企業としての長い歴史、そして70代になるベテラン職人たちが培ってきた技術を背負っての人材教育は責任重大ですが、二方で未来が楽しみです。



Column
宮大工養成塾とは宮大工になりたい人に向けて、3年間の実践型で修業を提供する塾。4年目は卒業生として、宮大工を抱える企業で雇用されることを目指す。宮大工の高齢化と継承者の減少により、全国の社寺が修繕に困る現状。興味のある方は、気軽に問い合わせよう。

石村工務店株式会社
■本社 福岡県福岡市博多区下呉服町5-21
TEL.092-291-0063
■名古屋 愛知県名古屋市中村区本陣通5-141
TEL.052-526-7015
https://ishimura-c.co.jp

Point
取材:IZAM
福岡の非常に歴史のある建築会社。事務所の設えも趣きのあるものでした。来年からは新たに宮大工の塾を設立されるということで、これは日本の伝統文化にとっても非常に重要な取り組みです。文化財保護の観点からも新たな担い手に頑張ってもらいたい。

